

いのちの言葉 3月

神と和解させていただきなさい。

(ニコリント 5・20)

世界各地で、戦争による流血が絶えまなく続いています。戦争は家族や民族などすべてを容赦なく巻き込みます。

20歳のグロリアが話してくれました。「ある村が焼き討ちにあい、村人の多くが何もかも失ったと知り、私は友人と一緒にふとんや衣類、食料品などの救援物資を集め、8時間かけてその村に行きました。

村には、悲しみに打ちひしがれている人々の姿がありました。彼らの話に耳を傾け、抱きしめながら一心に励ましました。

ある人は言いました。

『小さな娘が焼き払われた家の中にいました。あの子と一緒に私も死んだのも同然です…。でもあなたたちのおかげで、こんなにひどいことをした人たちを赦す力をもらいました』と打ち明けてくれました。』

使徒パウロもまた、赦される体験をしました。キリスト教徒を激しく迫害していた¹彼は、まったく予期せぬかたちで、神の憐れみと無償の愛に出会いました。そのときからパウロは、神との和解の使者となり²、死んで復活されたイエスの神秘を力強く証しする者として生まれ変わりました。すべての人が、神の無償の愛によって与えられた和解の恵みを通して、神との交わり、兄弟の交わりを生きることができるようになるためでした³。「神と和解させていただきなさい」というメッセージは、神の救いから遠く離れているとされていた異邦人をも惹きつけ、広く伝えられることになったのです。

キアラの語っていたことを読んでみましょう。

「神は、十字架上での御子の死を通して、最高のかたちでその愛を私たちにお示しになりました。キリストの十字架によって、神は私たちをご自分と和解させて下さったのです。私たちの信仰の基盤であるこの真理は、現代にあっても大きな意味をもっています。

『いつも傍にいて、私のことを深く愛しておられる方がいる』... こんなメッセージを、人々はどれほど待ち望んでいることでしょうか。

この真理を知ってもらうには、伝える相手も必要ですが、何よりもまず自分自身が繰り返しこのメッセージを思い起こすことが求められるでしょう。目の前の現実がその真逆のように思えるときにも、実は自分が神の愛に包まれていたことに気づく、そのときが訪れるまで、信じ続けることです。

私たちの一挙一動で、伝えようとするメッセージが本物かどうか試されます。」

自分の犯した間違いに気落ちしたり、神の助けなど必要ないと思い込んだりす

ることでもあるでしょう。そんな私たちを、神は憐れんで下さり、心を癒し、解放して下さいます。神は、人類とすべての被造物の上に平和をもたらすことを望んでおられます。心を癒された私たちも、経験を分かち合い、証しとなることによって、この神のご計画の実現のために貢献できるでしょう。

キアラの言葉を続けましょう。

「『兄弟が自分に反感を持っているのを思い出したなら、祭壇に供え物を捧げる前に、まず行って仲直りをしなさい(マタイ 5・23-24 参照)』と、イエスもはっきり言われました。イエスが私たちを愛されたように、私たちも互いに愛し合ひましょう。壁を作らず、偏見を捨てて、相手の良さを積極的に見出し、尊重すること。互いに命を与えるほど愛し合う覚悟をもつこと。これこそイエスの最も重要な掟であり、キリスト者の特徴といえるものです。キリストの弟子たちにとってそうであったように、現代でもこの掟は大切なものです。これを生きるとは、和解をもたらす人になる、つまり互いに受け容れ合うようになることを意味します。」

私たちも日々、家庭の中や家族と家族の間、また教会の中や諸教会の間で、さらにはそれぞれが属する地域社会の中で、友情と和解をもたらす者となれるよう努めましょう。

レティツィア・マグリ

レティツィア・マグリ

ローマ・ラ・サピエンツァ大学で生物学を専攻後、教皇庁ラテラノ大学・結婚と家庭のための教皇庁立研究所「ヨハネ・パウロ 2 世」にて修士課程修了。2 児の母。夫ルカとともにフォコラーレ・新しい家庭運動国際事務局でコミュニケーション・養成を担当。

いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。

関東 藤沢の一日マリアポリ

とき 3 月 12 日 (日) 10:30~16:00

ところ カトリック藤沢教会センターホール

いのちの言葉の集い

(週日に、調布、鷺沼、戸塚、厚木、千葉、浦和、鹿沼でも)

中部 3 月 12 日 (日) 14:00~ 瀬戸市みずの坂 サポートハウスゆうや

▶詳細は各フォコラーレセンターまで。

連絡先:フォコラーレ東京 042-387-1205/03-3330-5619/03-5370-6424 長崎 095-849-3812

E-mail:tokyofocfem@gmail.com

ホームページ: coni1157ch1.wix.com/focolare-jp

¹ 使徒言行録 22・4 参照

² ニコリント 5・22 参照

³ エフェソ 2・13 参照